

(限 内 部)

海軍公報 (部内限) 第四千六百八十四號

昭和十九年五月九日(火)
海軍大臣官房

○令 達

官房人第五〇八號
大東亞戰爭中海軍下士官兵身上取扱規則第十六條ノ規定ニ依ル兵種變更、任用進級等ニ關スル通知ハ之ヲ要セザルモノトス
昭和十九年五月六日
海軍大臣

○通 牒

海人三機密第二號ノ一三
昭和十九年五月八日
海軍省人事局
各應御中
戰時事變關係人事取扱例規廢版ニ關スル件通知
戰時事變關係人事取扱例規ニ輯録シタル事項中艦船部

隊等ノ事務ニ關係アリト認ムルモノハ本年二月一日海軍諸例則及内令提要挿換ノ際輯録濟ニ有之、尙自今發布セラルル人事關係取扱特例ハ挿換ノ都度(年六回)輯録セラルベキニ付戰時事變關係人事取扱例規ハ適宜燒却處分相成度
經物第六五號
昭和十九年五月六日
海軍省經理局長

關係各廳長殿
前金拂又ハ概算拂契約相手方ニ關スル件通知
昭和十七年經物第一三五號第一第四項ニ依ル首題ノ件左記ノ通ニ有之候
記

會社名	所在地
株式會社安達機械製作	東京都京橋區橫町一ノ一

海軍公報 (部内限) 第四千六百八十四號

昭和十九年五月九日

六七七

1868

足立工機株式會社	東京都足立區島根町八八一	株式會社竹内鐵工所	東京都城東區南砂町九ノ二四七〇
合名會社旭鋼管製作所	大阪市東成區深江西三ノ七八〇	株式會社簡井工業製作所	東京都深川區豐住町三ノ四
株式會社飯島鐵工所	大宮市大字大成一四六〇	帝國バルブ製造株式會社	東京都蒲田區糺谷町一ノ二三二
合名會社大井製作所	東京都深川區森下町一ノ一一	トモエ電機株式會社	横濱市中區吉田町二四
小原 <small>(小原鐵工所)</small>	八王子市中野町東一ノ九八	東京ラヂエーター製造株式會社	東京都麴町區有樂町一ノ一一
株式會社春日機械工作所	伊丹市伊丹字竹ノ鼻四五	株式會社東北製鐵所	川口市元郷町二ノ二四七九
財團法人共榮報恩會	水戸市鐵砲町六六六	長堀 <small>(千代吉 長堀鐵工所)</small>	川口市青木町三ノ二九
越田商工株式會社	東京都芝區新橋五ノ一ノ二五〇六	株式會社中山工業所	大阪市東淀川區野中南通三ノ一二
近藤商事株式會社	東京都日本橋區室町二ノ一ノ五〇六	有限會社日工機械製作所	川口市青木町三ノ二五
株式會社興亞鐵工廠	大阪府住吉區柴谷町三五	株式會社林田組	京都市鐘路區西大門町二ノ一
佐藤 重雄 <small>(佐藤組)</small>	昌原郡鎮海邑羽衣町一〇	株式會社廣瀬鐵工所	大阪府港區南境川町二ノ四一
鈴木機械工業株式會社	東京都豐島區巢鴨七ノ一五四五	株式會社福高組	奉天市大和區紅梅町第二六號
高砂鐵工株式會社	東京都芝區今入町三	福石合成樹脂株式會社	東京都京橋區銀座西三ノ一破々館
大日本内燃機製造株式會社	大阪府港區湊屋町一ノ二	合資會社フヂキカイ製作所	東京都豐島區高田南町三ノ七五一
大日本銃砲株式會社	大阪府北河内郡大和田村大字横地六〇	滿洲土木株式會社	奉天市大和區稻葉町第三號

合資會社滿洲辻組 奉天市大和區彌生町第二九號	株式會社增野製作所 東京都荒川區三河島町二ノ一〇七	株式會社柳瀬製作所 東京都京橋區京橋二ノ七ノ二	株式會社吉坂造機鍛工場 兵庫縣川邊郡岡田村南清水	吉田 貫之助 (吉田鐵工所) 名古屋市北區上飯田町四九六	教育第四八號ノ一九 昭和十九年五月八日 海軍省屬員教育指導官 高木 惣吉 關係各廳長殿 海軍省屬員教育講習開始期日延期ノ件 申進	昭和十九年四月八日教育第四八號ノ一五(四月十日附海軍公報)ニ依ル首題第一期甲種(會計)講習期日ハ都合ニ依リ延期セラレ候	○辭令 昭和十九年五月六日 堀田 菊治 任海軍技手
給三級俸 海軍技術大尉 藤田 茂	昭和十九年五月施行ノ海軍技術生徒採用學術試驗臨時委員ヲ免ス	昭和十九年五月施行ノ海軍技術生徒採用學術試驗臨時委員ヲ命ス(以上同海軍省)	水路部附ヲ命ス(六〇〇同) 海軍技手 堀田 菊治	(各通) 京都府技手(昭和九船長) 福尼 治郎吉 同 (同 機關長) 大西 彌三次	横須賀鎮守府附ヲ命ス(九〇〇同) 海軍軍醫大尉 村上 省三	第十二防疫班ニ要スル給與及其ノ他ノ經費支拂ノ爲艦隊經費分任出納官吏ヲ命ス 海軍軍醫中尉 濱田 青志	右同臨時分任出納官吏ヲ免ス(以上同支出官 海軍省經理局長) 海軍主計大尉 中具 和夫 第三十海軍工作部ニ要スル給與及其ノ他ノ經費支拂ノ爲艦隊經費分任出納官吏ヲ命ス

海軍公報(部内限)第四千六百八十四號

昭和十九年五月九日

六七九

海軍主計中尉 吉岡 二郎
右同分任出納官吏ヲ免ス(以上五回同)

○ 雜 款

○轉勤者赴任先
自今當隊ヘノ轉勤者ハ左ニ依リ赴任セシメラレ度

- 一 准士官以上
横須賀市稻岡町 海軍小園部隊本部
- 二 下士官、兵

- (イ) 丙戰 關係員 木更津航空基地
- (ロ) 乙戰關係員 厚木航空基地
- 其ノ他 (第三〇二海軍航空隊)

○事務開始
驅逐艦桃艦裝員事務所ハ五月一日舞鶴海軍工廠内ニ於テ事務ヲ開始セリ

臨時魚雷艇訓練所ハ五月一日長崎縣東彼杵郡川棚町小串郷ニ於テ事務ヲ開始セリ
追テ川棚海軍工廠内ニ設置セル海軍水雷學校實習所(假稱)設立準備委員事務所(仲村大佐事務所)ハ四月三十日之ヲ撤去セリ

○改稱
第三十一海軍航空廠舞鶴艦船裝工場ハ五月二日舞鶴工場ト改稱セリ

○事務所移轉
セブ在勤海軍武官庶務所ハ四月十三日比律賓國セブ市マルテレス街七三ニ移轉セリ

○轉官
海軍技手宇津木直治三月二十六日氣象技手ニ轉官セリ

○休職満期
休職海軍技手小泉新三ハ四月二十七日休職満期ト爲レリ

(限 部)

海軍公報 (部内限) 號外

○ 令 達

昭和十九年五月九日(火)

海軍大臣官房

官房軍第五四三號

合資會社内海組ヨリ寄贈ノ發動機船五號ひかり丸、同八號ひかり丸及傳馬船二隻(横須賀鎮守府徵備船)ヲ

雜役船ニ編入シ其ノ船名、船種、所屬等ヲ左ノ通定ム

昭和十九年五月七日

海 軍 大 臣

船 名	船 種	所 屬	定 數 別	舊 船 名	寄 贈 者
報國第九七號 (第一内海號)	内火傳馬船 (十二卷)	横須賀海軍工廠	臨時附屬	發動機船 五號ひかり丸	横濱市中區海岸通五丁目 二十五番地
報國第九八號 (第二内海號)	同 (十卷)	横須賀海軍施設部 (第四海軍施設部供用)	同	同 八號ひかり丸	合資會社内海組
報國第九九號 (第三内海號)	傳馬船 (十卷)		同	傳馬船 (水上發著參貳號)	

海軍公報 (部内限) 號外

海軍公報 (部内限) 號外

昭和十九年五月九日(火)
海軍大臣官房

○ 辭令

○ 昭和十八年七月十五日

海軍中佐 時永 縫之助

敍從五位

海軍書記 鷹取 利喜太

敍從七位

○ 昭和十八年十二月一日

海軍中尉 鈴木 留藏

敍正七位

海軍兵曹長 山崎 武司

敍從七位

○ 昭和十八年十二月二十八日

海軍少佐 仙波 繁喜

敍從五位

海軍中尉 花井 新一

(各) 同

佐藤 孫市

敍正七位

海軍二等兵曹 森田 鎗二
敍從八位

○ 昭和十九年三月一日

海軍少佐 西野 繁

(各) 同

松田 九郎
敍正六位

○ 昭和十九年二月二十三日

海軍少尉 福井 勘三郎

敍正八位

○ 昭和十九年二月二十四日

海軍少尉 下和田 深

敍正八位

○ 昭和十九年二月二十六日

海軍中尉 湯木 宗平

敍從七位

○ 昭和十九年三月一日

海軍司政官 岩口 守夫

敍從五位

海軍少佐

篠田 憲一

同 益山 光哉

同 手島 勇雄

同 高橋 眞

同 長 益

同 城戸 富待

同 姫野 一郎

同 古濱 智

同 赤尾 俊二

同 高木 政一

同 矢野 房雄

同 榎原 喜與二

同 能勢 省吾

同 菅原 英雄

同 飯田 美照

同 長 光

同 種子島 洋二

同 松田 秀雄

(限 内 部)

海軍公報 (部内限) 號外

1873

同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同			
稲	宮	瀬	德	吉	岡	入	壹	山	久	小	小	前	鈴	安	三	本	清	土	池	田	田	繁
田	島	戸	永	津	村	戸	岐	上	保	原	泉	田	木	村	木	田	水	岐	田	田	田	田
領	美	口	己	信	武	野	密	龜	政	四	義	鐵	對	正	正	仙	珂	丸	巖	巖	清	清
	雄	熊	法	一	男	生		三	太	雄	雄	志	莊	夫	夫	藏	丸	丸	巖	清	清	清

(通各)

同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
浦	木	塚	新	中	足	濱	菊	石	小	岡	浦	佐	後	五	渡	村	田	阿	山	三	田	好	
節	曾	本	家	町	立	田	地	本	松	野	田	賀	藤	木	邊	中	部	本	田	田	美	美	
雄	勝	勲	武	喜	恒	千	植	榎	崎	彦	喜	辰	武	丑	尹	時	勝	壽	好	好	美	美	
	人		夫	三	二	秋	太郎	昇	勇	治	富	夫	一	松	夫	夫	一	彦	彦	彦	彦	彦	

同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
玉	高	山	近	岸	與	益	重	平	松	小	御	山	井	土	松	宮	河	佐	小	長	渡	國	
井	橋	口	藤	田	山	井	留	部	本	野	代	木	上	谷	島	崎	島	藤	川	渡	國	國	
廉	富	宗	忠	自	英	英	清	俊	雄	基	田	佳	忠	忠	六	士	清	俊	川	國	國	國	
人	士	夫	夫	成	太	太	治	直	藏	治	實	夫	太	夫	郎	郎	清	太郎	糺	太郎	太郎	太郎	

1874

(通各)						(通各)			敍正六位						同			同			同			同		
同	同	海軍教授	同	同	海軍司政官	同	同	海軍中尉	同	同	海軍司政官	同	同	海軍大尉	海軍醫大尉	海軍技師	海軍司政官	梅崎	永嶺	菅沼	和田	同	同	同	同	
横山	寺田	姉崎	有吉	宮坂	桑名	北島	國崎	上野	上野	横山	黒相	及川	藏	香次郎	河合	林	梅崎	永嶺	菅沼	和田	同	同	同	同		
正三	守	岩藏	德雄	梧桐	仁三郎	榮之助	恒夫	玄作	久哉	新平	昇	厩吉	九洲夫		貢	貢	鼎	忠雄	義方	正三郎						
												敍正七位														
同	同	海軍技師	同	同	同	同	同	海軍教授	同	同	海軍司政官	同	同	海軍中尉	海軍書記	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	
横山	上田	仁木	山田	岡田	木原	吉田	安彦	野中	篠塚	馬渡	尾花	上野	後藤	可兒	柴崎	隅田	朝倉	正木	喜利	同	同	同	同			
隆	誠	健治	哲郎	三一	大策	秀雄	敏雄	春昌	順一	林平	正之	立輔	敏行	擴	篤	篤	篤	篤	篤	篤	篤	篤	篤	篤		
												(通各)														
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同		
守永	大友	八坂	大塚	島生	彦坂	吉島	赤城	北川	川内	永濱	増田	中原	佐伯	岡田	伊藤	宇賀	石崎	高橋	吉本	米澤	同	同	同	同		
實雄	力生	久雄	邦一	正	善道	晃一	登	吉夫	霧雄	圭二	秀雄	忠	延壽	繁雄	輝一	和彦	微笑	正治	辨治	治						

1875

海軍技師	森 敏夫	森 義弘	横山 鉄彌	田中 祐一	佐藤 清	坂根 茂	森脇 健治	篠田 茂樹	石田 一夫	毛利 義行	淺井 九平	白井 惣吉	久保田 玄治	田中 鉄藏	原田 明治	黒羽 芳太郎	西橋 利忠	森松 五郎	大塚 龜助	大盛 利男
------	------	------	-------	-------	------	------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	--------	-------	-------	--------	-------	-------	-------	-------

(通各)

海軍少尉	大津 瑞穂	今川 志郎	齋藤 吉平	上原 繁	坂垣 嘉男	岡 仙作	加藤 理公	吉原 賢二	西堀 弘	池田 兵造	谷村 精史	林 敬徳	山口 豊	三浦 東行	内田 山之助	水谷 皓一	村川 明治	宮田 忠一	森 謙治	徳岡 良三	高橋 政幸
------	-------	-------	-------	------	-------	------	-------	-------	------	-------	-------	------	------	-------	--------	-------	-------	-------	------	-------	-------

同	山根 一進	高芝 武夫	片倉 芳三	佐藤 美弘	川崎 哲夫	榊原 爲長	玉那覇 周	白鳥 貫之	林 貫之	長沼 重義	井土 博之	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
---	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	------	-------	-------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

〇昭和十九年三月三日 海軍少尉 久保田 保
 〇昭和十九年三月四日 海軍大尉 河田四郎兵衛
 〇昭和十九年三月五日 海軍理事官 中村 三男
 〇特旨ヲ位ヲ一級被進

海軍看獄看守長
敍從七位

<p>○昭和十九年三月六日</p> <p>海軍少尉 堀江 孝三</p> <p>敍正八位</p> <p>○昭和十九年三月七日</p> <p>海軍少佐 久保 弘</p> <p>敍從五位(特旨ヲ以テ位一級追陞セラル)</p> <p>○昭和十九年三月九日</p> <p>海軍大尉 積田 文雄</p> <p>敍正七位</p> <p>海軍少尉 松田 秀義</p> <p>敍正八位</p> <p>○昭和十九年三月十三日</p> <p>海軍中將 清水 光美</p> <p>敍從三位(特旨ヲ以テ位一級被進)</p> <p>海軍軍醫中將 田中肥後太郎</p> <p>敍正四位(特旨ヲ以テ位一級被進)</p> <p>海軍少將 松 笠 潔</p> <p>敍從四位(特旨ヲ以テ位一級被進)</p> <p>海軍大佐 石崎 忠三</p> <p>敍從四位(特旨ヲ以テ位一級被進)</p>	<p>海海技師 大久保隆弼</p> <p>敍正五位(特旨ヲ以テ位一級被進)</p> <p>海軍大尉 小園 萬六</p> <p>(通各)</p> <p>同 稻田 清</p> <p>同 佐々田 可治</p> <p>(通各)</p> <p>同 熊田 幸平</p> <p>同 大石 好平</p> <p>敍正六位(特旨ヲ以テ位一級被進)</p> <p>(通各)</p> <p>海軍大尉 本田 又八</p> <p>(通各)</p> <p>同 松金 福太</p> <p>敍從六位(特旨ヲ以テ位一級被進)</p> <p>○昭和十九年三月十四日</p> <p>海軍兵曹長 櫻田 一則</p> <p>(通各)</p> <p>同 兒玉 重志</p> <p>同 高橋 勝男</p> <p>敍從七位</p> <p>海軍少尉 本間 智作</p> <p>敍正八位</p> <p>○昭和十九年三月十五日</p> <p>海軍司政官 松本 勝夫</p> <p>敍從五位</p>	<p>(通各)</p> <p>海軍司政官 譽田 千之</p> <p>同 嶋中 武吉</p> <p>同 江本 正敬</p> <p>(通各)</p> <p>海軍技師 岩片 秀雄</p> <p>海軍司政官 松田 龜三</p> <p>海軍司政官 河部 國太郎</p> <p>海軍技師 增田 長輝</p> <p>海軍司政官 岩崎 輝彦</p> <p>同 池田 勇</p> <p>同 津田 正夫</p> <p>海軍教授 河野 俊秀</p> <p>同 上野 正</p> <p>同 山村 武雄</p> <p>同 村上 滿洲男</p> <p>海軍技師 高木 一夫</p> <p>同 玉木 捨巳</p> <p>同 吉岩 賢正</p> <p>同 安武 熊雄</p> <p>同 山本 將雄</p>
---	--	--

海軍公報(部内限) 號外

五

敘正七位

同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	海軍中尉	海軍編修	同	同	海軍技師	
龜岡比天夫	濱田實	清水金司	長妻喜重	舛巴求己	後藤政行	村上次男	豊永實	木下一周	山縣文樹	楠目亮	色部良三	九十九善三郎	關根行也	山田彦雄	堀田正慶	嶋田俊彦	高田光次郎	林巖	望月巖雄

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同

森芳夫	三宅申一	南部鐵雄	松下辰夫	岡崎達雄	中野弘一	廣瀬研自	松尾景光	半窪敏夫	伊藤鈴男	伊藤一彦	加藤竣平	高木一昇	渡邊聰四郎	賀田穰	熊谷季雄	大橋常孝	稻木一男	倉富伊南男	木村恭二	山越富雄
-----	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	-------	-----	------	------	------	-------	------	------

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同

鈴木博	伊手武	井文久	伊藤明	相田康明	森田龍夫	中島丈夫	中原通夫	山下清高	山下清高	西森秀夫	増田宏夫	永田預志也	大沼満	渡邊好	伊藤彦吉	高田亮	滑川民藏	深川保雄	笠川保	柴勝光	鈴木忠男
-----	-----	-----	-----	------	------	------	------	------	------	------	------	-------	-----	-----	------	-----	------	------	-----	-----	------

同
 黒川 和直
 古澤 登
 加賀山 國雄
 須藤 正久
 岩田 精一
 小坂 美智雄
 角田 昇
 鍋島 日出男
 佐谷 健吉
 猪木 省吾
 藤森 則夫
 竹中 親道
 荒川 完
 西田 廉平
 田中 哲
 繩田 一郎
 毛利 義明
 佐野 正太郎
 大野 隆正
 神保 皆生
 詫摩 昌美

同
 間 信麿
 鈴木 繁雄
 飛田 忠英
 三宅 俊治
 田淵 勝
 杉本 純一
 岡屋 簡一
 村瀬 八郎
 安藤 敏包
 有野 康朋
 平野 憲郎
 常田 憲泉
 藤井 眞治
 加藤 禎一
 井村 雄次
 大田原 向清
 高島 静男
 守田 長兵衛
 坪井 庸三
 徳永 庸三
 堀 正彦

同
 石井 達也
 下川 幹夫
 高田 哲男
 戸田 良吉
 鶴田 總一郎
 喜多川 忠一
 柳原 光
 村瀬 泰敏
 梅原 哲郎
 渡邊 俊治
 神田 雄次
 浦口 宗隆
 栗原 榮二
 有馬 興三
 馬田 廣行
 宮崎 五郎
 神足 勝清
 大津留 勝清
 三浦 乘雲
 賀藤 榮喜
 奥洞 元治

同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	海軍中尉
佐藤信重	竹中重二	中山知彦	川口清二	澁田駿	青野英次郎	河野恭一	木佐貫武雄	藤本仁平	下前陽三	上村惠一	眞保邦男	山口龍雄	川嶋康文	橋本長紀	手塚弘	福山孝之	藤村弘毅	篠崎市郎	田村次郎	宮崎了月	

同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
安藤安彦	林幸郎	野中幸男	村木眞三	阿部隆雄	松下德久	川原啓司	増井武夫	高橋武夫	川村三郎	新美重夫	土居朝高	尾崎朝夷	東郷駿二	山口房雄	野中關造	堀井功三	柏木慶三	木下浩	吉田一芳	湯淺一	

同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
長山佐喜知	鈴木榮一	主原正夫	仙頭謙介	磯野哲三郎	廣田省二	赤松公男	木下武滿	内尾政典	太田萬作	近藤喜久司	辻村眞弓	木下邦樹	佐渡博夫	川島敬忠	秋山芳彦	原口要	関谷郁太郎	徳永勇二	田中忠恒	大場景雄	

同 同

中 石 森 平 大 伊 寺 中 石 戸 財 宮 赤 秦 赤 藤 中 石 津 多 越
 塚 井 山 山 村 藤 田 井 川 島 部 崎 羽 松 木 川 原 田 久 智
 勝 英 幹 匡 安 貞 一 清 辰 爲 榮 篤 靖 信 正 正
 三 太 雄 一 郎 男 勝 彦 郎 次 信 三 治 史 六

同 同

鈴 植 大 大 岡 泉 大 高 工 本 高 武 馬 田 清 青 松 澤 倉 木 上
 木 田 概 久 田 泉 塚 橋 藤 多 原 良 場 上 水 地 平 井 持 下 田
 信 香 守 能 嘉 順 長 千 新 清 宗 保 信 泰 五 一 弘 忠 明
 光 苗 治 忠 久 一 良 春 郎 彦 平 夫 一 之 郎 男 篤 篤

同 同

西 佐 今 古 上 加 庭 西 橋 内 河 湯 山 松 加 勅 山 木 小 北 永
 村 藤 北 川 田 藤 山 大 木 海 野 淺 田 園 藤 使 本 泉 出 野
 榮 吉 富 清 不 泰 條 一 康 善 虎 榮 味 正 川 太 利 敬 安
 一 雄 一 彦 二 正 一 勝 郎 勝 夫 三 美 泰 原 左 一 敬 親
 夫 正 一 郎 勝 夫 三 美 泰 原 左 一 敬 親

海軍中尉
 同 渡邊 郁夫
 同 小宮山 誠
 同 小西 直一
 同 堀場 道高
 同 山口 元太郎
 同 富岡 太郎
 同 佐久間 健次
 同 望月 忠義
 同 西 守久
 同 松岡 健次
 同 清浦 好文
 同 三澤 良彦
 同 猪島 正雄
 同 渡邊利左門
 同 大室 進
 同 廣瀬 正吉
 同 丸山 司郎
 同 大坪 可也
 同 荒木 義之
 同 大澤 德吾郎
 同 堤 正人

同 西岡 文武
 同 上田 四郎
 同 森岡 嘉治郎
 同 橋本 研二
 同 中原 博
 同 遠藤 甚太郎
 同 平田 哲夫
 同 那司 敏夫
 同 松田 政之
 同 榊 欽吉
 同 市川 裕士
 同 永田 公一
 同 御法川 孝
 同 永田 隆男
 同 川井 健造
 同 伊藤 定夫
 同 林 俊次
 同 栗山 換一
 同 清水 志郎
 同 岩垂 深
 同 小林 庸二郎

(通各)

同 玉木 義雄
 同 足立 研一
 同 松本 正彦
 同 高橋 富彦
 同 野上 國知
 同 石田 清三郎
 同 小西 裕二
 同 川原 章
 同 林 五郎
 同 土屋 幸雄
 同 小出 達夫
 同 關根 佳夫
 同 嶋野 直喜
 同 田宮 啓男
 同 高野 秀雄
 同 小山 麓
 同 依田 正巳
 同 戎 良男
 同 林 秀雄
 同 加文字 孝三郎
 同 池田 成男

同 同

關根彌五郎 高橋弘 野村登 田村榮次 山村敬夫 筑木一雄 見市三郎 關口敬民 並河修 大江貢 福田藤喜藏 宮木藤藏 内藤四郎 上瀧重夫 越野道太郎 菅原鼎山 高倉嘉直 山口國芳 筒井四郎 中川磯雄 椎名福三

同 同

岡村壽正 小坂俊雄 矢内原伊作 平野哲也 飯田正武 小立泰 田中實 宮崎藤作 松尾一郎 鈴木四郎 中野末弘 宮野啓三 荳野四郎 岡村繁雄 中島了勤 大場正彦 越山勇 前田正 石倉正巖 金本正之 和田直

同 同

田村顯 松木國男 平部恒正 村田輝夫 菅原得夫 村山雅美 太刀川真治 森正司 永石實 齋藤信四郎 伊藤時雄 石井賢進 蝦名賢造 佐々田正 蒲生英二 岡壽磨 黒葛原 關善一 高橋茂一 今村清 見島政秀

1883

同
 抱 大 中 松 佐 秋 小 三 齋 齋 野 鈴 堀 鈴 山 江 服 江 竹 小 海
 塚 山 岡 伯 山 林 矢 藤 藤 村 木 善 鹿 口 良 部 口 入 篁 軍
 時 皓 榮 太郎 光 洋 國 夫 宏 長 正 四 昌 里 六 也 郎 一 郎 仲 隆 中
 一 男 司 郎 和 夫 纓 夫 夫 士 郎 昌 里 六 也 郎 一 郎 仲 隆 尉

同
 狐 齋 宮 松 稻 菊 井 龜 渡 安 松 大 大 成 小 山 島 庄 大 大 三
 崎 藤 岡 代 垣 地 上 井 邊 島 下 泉 津 田 平 本 司 野 塚 好
 敬 教 常 龍 贊 敏 元 久 毅 正 勉 瀨 千 勝 信 輝 健 潤 久 啓
 三 郎 平 二 夫 廣 二 男 正 勉 太郎 任 二 七 雄 顯 藏 一 夫 治

同
 鶴 高 渡 佐 片 山 鈴 半 永 加 中 古 目 恒 藤 林 田 青 武 渡 余
 田 久 部 藤 山 脇 木 野 田 藤 牽 田 加 川 原 邊 木 部 邊 語
 修 五 孝 公 日 正 富 真 義 義 研 通 坦 龍 郁 仲 吉 健 欣 昌
 一 郎 男 一 雄 貴 夫 敬 義 夫 市 武 平 男 也 夫 雄 健 二 雄

同 同

山 駒 三 古 長 荻 佐 大 今 山 藤 森 枝 熊 灘 林 森 志 細 廣 小
 川 澤 井 田 安 野 々 村 村 口 尾 山 光 井 波 本 賀 田 川 川
 清 年 俊 照 純 任 重 鐵 和 芳 典 茂 健 大 賢 春 聰 新
 治 三 明 之 夫 方 穂 夫 男 男 賞 郎 郎 郎 大 二 中 式 一

同 同

久 澤 白 戶 坂 原 春 東 岡 守 上 杉 今 成 中 笠 堀 難 貝 奈 池
 堀 山 居 田 本 日 條 野 谷 田 崎 井 島 島 間 堀 波 増 良 田
 通 元 孝 內 英 富 新 正 良 育 義 則 俊 廣 善 璋 茂 英 芳 芳 博
 義 春 式 豪 一 吉 久 之 介 則 雄 悅 丸 悟 義 夫 紹 夫 行

同 同

市 玉 野 橋 谷 竹 岡 吉 深 吉 竹 鼻 高 伊 村 片 武 坪 森 伊 禾
 川 木 內 本 永 田 田 澤 田 內 節 藤 上 桐 川 井 田 東 東
 彦 和 道 恭 錄 一 義 公 恒 友 勝 欽 保 幸 爲 一 泰 久 定 晴
 太 之 夫 一 郎 雄 威 雄 一 正 治 夫 夫 博 精 夫 一 典 道
 郎 之 夫 一 郎 雄 威 雄 一 正 治 夫 夫 博 精 夫 一 典 道

1885

同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	海軍中尉
松岡英武	高村清	池田三千雄	吉島寧	横野甚一郎	林泰輔	筒井稔	小坂安彦	中村達也	吉田知義	岡田秀健	片平克雄	北風清一	家入精二	太田泰男	谷口盛次	増田忠純	長谷川守道	濱正治	日泰輔	泉富雄	

同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
松尾勳	樋口駿郎	河崎繁雄	宮本貞夫	鈴木正美	中村正直	長尾直	端地善	井口進八郎	新美勝信	森本卓藏	米村章	藤原榮一	岡澤裕弘	内山弘	堀内康人	橋本重幸	谷重義	遠藤包義	佐藤武勝	鈴木勝	

同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	海軍技師	同	同	海軍教授	海軍司政官	同	同	同	同	同	同	同
村松義通	山口直吉	大内良雄	海野祐三	前田敬治郎	塚本和三雄	後藤留吉	七戸東吾	杉田文雄	豐田治幸	石川昭	中澤三	原浩	仲田智明	後藤淺一郎	玉木正枝	松平定康	倉持光憲	大角東隆	秋山辰清	中川英憲	

同 同

八橋 傳造
野口 德三
若生 卓二
堀米 耕平
鈴木 三郎
澁谷 勝治
鈴山 十郎
菊池 繁雄
川野 德
重松 正人
川村 慶正
市川 壽之
秋口 徳房
太田 朝光
遠藤 龜久
露木 義雄
松田 啓
島本 茂
志村 高三
小瀨 斌太郎
栗原 忠

同 加藤 進一

同 中須賀 英六

海軍技手 田邊 久由

敘從七位

○昭和十九年三月二十五日

海軍大尉 嶋田 良作

敘正七位

○昭和十九年三月二十九日

海軍大尉 鈴木 哲也

敘正七位

○昭和十九年四月一日

海軍大尉 飯田 鶴吉

同 松下 虎之助

同 長内 鶴松

同 加藤木 猛次郎

同 水井 太兵衛

同 滿留 末彦

同 角埜 留吉

同 村木 專治郎

同 福田 貢

敘正六位

(通各)

敘從六位

海軍大尉 浦邊 勘左衛門

同 塩見 泰治

海軍主計大尉 戸井 又一

海軍大尉 河口 太門

海軍中尉 高橋 貢

同 阿部 傳三郎

同 菅原 今朝之助

同 竹内 榮一

同 川戸 榮好

同 橋本 德太郎

同 小松 傳次

同 上南 勇

海軍司政官 佐藤 愛之助

同 小野 正木

同 増田 日男

同 大沼 孝志

同 二階堂 進

海軍教授 鶴賀 伊奈夫

海軍技師 上田 信

同 末永 豊志

彼從七位

海軍理事官

同 同 同 同 同 同 同

丹羽 廣 牛渡 孝 前田 龜 齋藤 菊 永津 金 谷 本 若 狹 積 優

1889

(限 内 部)

海軍公報 (部内限) 第四千六百八十五號

昭和十九年五月十日(水)

海軍大臣官房

○令 達

官房人機密第一〇二〇號

本年四月二十二日現在海軍療品廠職員タル者ハ特ニ發令セララルモノノ外別ニ辭令ヲ用ヒズシテ第一海軍療品廠ノ各相當職員ニ補命セラレタル義ト心得ベシ
昭和十九年四月二十二日
海軍大臣

官房需第一二三號

昭和十八年官房需第二〇九號中左ノ通改正ス

昭和十九年五月八日

海軍大臣

別表第二中潜航時増加食ノ部生果物ノ項ノ次ニ左ノ如ク加フ

口中清涼食

一五

別表第三中航空時増加食ノ部特種耐寒食ノ項ノ次ニ左

ノ如ク加フ

口中清涼食

一五

(參照) 海軍會計法規類集 二卷 三三〇ノ六頁

官房需第一二四號

大東亞戰爭中海軍給與令施行細則第九十二條及第十三表ノ規定ニ依リ葬儀ヲ行フ者ニ下付スル軍帽及軍帽前章ハ之ヲ下付セザルモノトス
昭和十九年五月九日
海軍大臣

昭和十九年五月九日

海軍大臣

官房醫第八五號

海軍豫備員任用臨時特例ニ依ル海軍豫備生徒ノ身體檢査ニ關シ左ノ通定ム

昭和十九年五月九日

海軍大臣

海軍豫備員任用臨時特例ニ依ル海軍豫備生徒ノ身體檢

海軍公報 (部内限) 第四千六百八十五號

昭和十九年五月十日

六八一

1890

查規格ニ關シテハ海軍志願者身體検査規則中豫備學生ニ關スル規定及昭和十八年官房醫第九三號ノ規定ヲ準用ス

官房艦機密第二三號ノ三二

昭和十九年五月九日

海軍大臣

各鎮守府司令長官殿

兵器簿ノ件通達

潜水艦兵器簿機關長主管ノ部中左記ノ通改正ス

記

指定	類別	品名	數稱	範圍
削除	電動直流發電機之部	電動直流發電機	基	無線關係ノモノ全
	電動交流發電機之部	電動交流發電機	部	

○通牒

官房軍機密第六六一號

昭和十九年五月九日

次官事務事披

關係各廳長殿

重要施設ノ周圍部ニ於ケル防空空地設定ニ關スル件申進

首題ノ件ニ關シ防空總本部次長ヨリ別紙ノ通照會有之候條關係施設ニシテ該當ノモノ有之トキハ其都度海軍次官宛通報相成度

(別紙)
防總一九發第一七九號
昭和十九年四月二十六日
防空總本部次長

海軍次官殿
重要施設ノ周圍部ニ於ケル防空空地設定ニ關スル件

標記ノ件ニ關シテハ別紙要綱ニ依リ處置スルコトト致度候ニ付テハ貴省關係施設ニシテ該當ノモノ有之トキハ其ノ都度御回示相煩度此段及照會候也

(別紙)
重要施設ノ周圍部ニ於ケル防空空地設定要綱

一 趣 旨

大都市ニ於ケル疎開實施ニ即應シ重要施設周圍部ニ於ケル現在空地ヲ保存シ防空態勢ノ整備ヲ圖ラントス

二 設定標準

軍需生産上重要ナル大規模工場其ノ他防空上重要ナル施設ノ周圍部ニ於ケル現存空地ニ付概ネ五〇―二〇〇米ノ幅員ヲ以テ防空空地又ハ空地帯ヲ設定スルモノトス

三 利用方法

建築ヲ禁止制限シ、防空貯水槽、防空壕、農耕地等ノ用地ニ充ツルモノトス

四 買収其ノ他

防空空地ハ所有者ノ止ムヲ得ザル事情アルモノニ付テハ當該施設管理者(軍工場ニ付テハ軍)ニ於テ之ヲ借受ケ、又ハ買収スルモノトス

五 設定方法

前項措置並ニ區域ニ付關係方面(地方廳ヲ含ム)ト打合ノ上防空法第五條ノ五第二項ノ規定ニ依リ内務大臣之ヲ指定スルモノトス

軍務一機密第四〇三號

昭和十九年五月九日

海軍省軍務局長

關係各廳長殿

對陸軍航空術科教育訓練實施ニ關スル件申進

陸軍航空部隊ニ對スル航空術科教育講習等ニ關スル相互交渉ハ自今陸海軍航空本部間ニ於テ行フモノトシ實施部隊相互ノ直接交渉ハ實施セザルコトニ定メラレ候

經給第七一號

昭和十九年五月八日

海軍省經理局長

關係各廳長殿

工員定期一般昇級ニ關スル件通牒

戰時海軍工員規則第五十六條ノ規定ニ依リ本年五月ニ行フベキ工員(曠員ヲ含ム)ノ定期一般昇級ハ四月二十一日ニ於ケル昇級有資格者一人ニ付八錢以内ヲ以テ左記ニ依リ五月二十一日附實施ノコトニ取計相成度

記

一 昇級有資格者トハ昭和十八年十月二十一日以前入

業ノ工員ニシテ左ノ工員ヲ除キタルモノトス

(イ) 徵集又ハ召集セラレタル工員及工作科豫備補習生

(ロ) 技手養成所練習工員、部外依託修業中ノ工員、選科工員、補修科工員及見習工員

(ハ) 誓約期間滿了前ノ見習成業工員

(ニ) 昭和十三年艦本機密第一六六一〇號通牒ニ依ル速成工員ニシテ今期特別昇級セシムルモノ

(ホ) 昭和十七年官房第一七一六號ノ規定ニ依ル特設應ニ轉用ノ工員

(ヘ) 今期ガ教育終了直後ノ昇級期ニ該當スル年少工員出身ノ者

二 前期ニ於ケル定期一般昇級豫算殘額ハ今期ニ於テ之ヲ使用スルコトヲ得

三 第一號ノ(ヘ)ニ該當スル工員ニ付テハ採用當時之ト同一給料等級ニアリタル他ノ未經験工員ノ大多數ガ現ニ受ケ居ル給料等級ヨリ平均三級以内上位ニ達スル迄一般配付豫算外ニ於テ昇級セシムルモノトス

四 昭和十七年官房第一九五二號ノ規定ニ依ル應徵又ハ應召中ノ工員ハ一般配付豫算外ニ於テ昇級セシムルモノトス

五 昇級有資格者四月二十二日以降五月二十一日迄ノ間ニ轉用ノ場合ニ於テハ左ニ依リ轉用先應ニ於テ昇級セシムルモノトス

(イ) 轉用元應ニ在リテハ轉用工員一人ニ付八錢ヲ今期豫算ヨリ控除スルモノトス

(ロ) 轉用先應ニ在リテハ一般配付豫算外ニ於テ昇級セシムルモノトス

(ハ) 特設應ニ轉用又ハ特設應ヨリ復歸ノ工員ニ付テハ前二號ニ準ス

○ 辭 令

○昭和十九年五月五日

任海軍書記

龜山 佑夫

給三級俸

警視廳警部補 吉武 辰雄

任海軍書記

青森縣警部補 福士 榮藏

任海軍書記

給六級俸

給六級俸(八昭十七年海軍省)

海軍書記 平岡 戒三

依願免本官(十五昭同)

海軍技手 朝倉 喜一

マカツサル研究所附ヲ命ス

海軍書記 龜山 佑夫

(各通)

同 吉武 辰雄

南西方面海軍民政府附ヲ命ス

同 福士 榮藏

免兼第四氣象隊附(以上十五昭同)

海軍氣象部附兼第四
氣象隊附海軍技手 竹内 真直

第二課勤務ヲ命ス(四十五昭海軍省兵備局)

海軍主計少佐 松下 通雄

海軍運輸本部事務ヲ囑託ス

杉本 精

但シ報酬月額百圓ヲ給シ部内限判任官待遇トス

囑託 杉本 精

海軍運輸本部事務囑託ヲ解キ第五建設部事務ヲ囑託ス(報酬如故)(以上一五昭海軍運輸本部)

○ 雑 款

○司令潜水艦變更

第十九潜水隊司令ハ五月一日司令潜水艦ヲ伊號第五百十五潜水艦ニ變更セリ

○感狀授與通知

自昭和十七年九月一日至同年十二月十四日 期間軍艦神川丸ニ勤務セル者ニ對シ左ニ依リ履歴記註相成度

一八、九、一五

昭和十八年八月下旬外南洋部隊水上航空部隊ニ屬シ「シヨトランド」島ニ進出「ガダルカナル」島方面作戰ニ參加シタル功績ニ對シ聯合艦隊司令長官ヨリ部隊感狀授與セララル

(神川丸殘務整理委員)

○旅行順路

當校ヘノ旅行者ハ左記ニ依ラレ度

横須賀方面ヨリ

東海道線三島驛下車驛前駿豆鐵道ニテ長澤下車徒歩約五分

關西方面ヨリ

東海道線沼津驛下車驛前駿豆鐵道ニテ長澤下車徒歩約五分

(沼津海軍工作學校(假稱)設立準備事務所)

海軍公報(部内限)第四千六百八十五號

昭和十九年五月十日

六八五

1894

○事務開始
伊號第三六四潜水艦裝具事務所ハ五月一日三菱重工
業株式會社神戸造船所内ニ於テ事務ヲ開始セリ

○移轉
第二〇四海軍航空隊殘務整理事務所ハ五月二日木更津
航空基地ヨリ横須賀鎮守府艦船部隊殘務整理班内ニ移
轉セリ

○訂正
四月十日附公報(部内限)辭令欄五〇七頁下段十一行
目「神田橋貞男」ノ辭令文中「第二十一海軍航空廠鹿
屋支廠海軍共濟組合事務」ハ「第二十二海軍航空廠海
軍共濟組合事務」ニ訂正

○正誤
昭和十九年三月九日附海軍公報(部内限)三一七頁辭
令欄上段通信院技手榎本信行外二名ノ發令月日昭和十
八年二月二十五日附ハ昭和十九年二月十五日附ノ、同
年四月十三日附海軍公報(部内限)五二九頁辭令欄下
段二行目第六海軍軍用郵便ヲ免ストアルハ第一海軍軍
用郵便所ヲ免スノ執レモ誤

(限 内 部)

海軍公報 (部内限) 號外

昭和十九年五月十日(水)
海軍大臣官房

○ 令 達

官房第五四七號
雜役船ノ所屬ヲ左ノ通變更ス

昭和十九年五月八日

海 軍 大 臣

船名 (公稱番號)	船種	舊所屬	新所屬	定數別	記 事
由良川	練習船	海軍機關學校	舞鶴海軍運輸部	臨時附屬	
報國第三號 (廣谷號)	交通船 (二百二十三噸)	橫須賀海軍軍需部 (第八海軍軍需部供用)	大湊海軍港務部	同	
第九〇三號	曳船兼交通船 (百五十噸)	吳海軍航空隊	松山海軍航空隊	定 數	
第一五六〇號	曳船 (四百七十噸)	橫須賀海軍港務部	橫須賀海軍運輸部	臨時附屬	
第一三八八號	內 火 艇 (十五米)	小松島海軍航空隊	詫間海軍航空隊西條分遣隊	定 數	
第一四八號	內 火 艇 (同)	大村海軍航空隊	博多海軍航空隊天草分遣隊	同	
第二四八號	同 (十一米)	大分海軍航空隊	築城海軍航空隊	同	

海軍公報 (部内限) 號外

1896

第一四〇六號	內 火 艇 (十二米)	旅順警備府 (第三道支隊司令部供用)	横須賀潜水艦基地隊 (第三十潜水艦基地隊供用)	臨時附屬	
第一四七二號	同 (十五米)	豊橋航空基地	高知海軍航空隊	定 數	
第一五九〇號	同 (同)	第二十二海軍航空廠	垂水海軍航空隊	同	
第九〇五號	內 火 ランチ (十二米)	大分海軍航空隊	築城海軍航空隊富高分遣隊	同	
第三七四七號	潜水作業艇	吳海軍工廠	技術研究所 (雷艇研究部供用)	臨時附屬	
第六五三三號	魚雷運搬船 (百五十噸)	海軍水雷學校	光海軍工廠	同	
第六七二九號	同 (同)	光海軍工廠	海軍水雷學校	同	
第二一九號	特型運貨船 (十四米)	佐世保防備隊	吳海軍航空隊	同	
第六一五七號	同 (同)	佐世保防備隊	吳海軍工廠	同	
第六一五八號	同 (同)	佐世保防備隊	吳海軍工廠	同	
自第九五三號 至第九五六號	同 (同)	佐世保防備隊	大分海軍航空隊	同	
第二九五〇號	博 馬 船 (十米)	馬公方面特別根據地	第六海軍燃料廠	定 數	
第二九五一號	同 (九米)	馬公方面特別根據地	第六海軍燃料廠	定 數	
第二九六八號	同 (十米)	馬公方面特別根據地	第六海軍燃料廠	定 數	
第三四〇號	同 (十二米)	馬公方面特別根據地	第六海軍燃料廠	定 數	

海軍公報

(部内限) 第四千六百八十六號

昭和十九年五月十一日(木)

海軍大臣官房

○令 達

官房軍機密第六七一號

海軍科學技術審議會事務處理内規中左

昭和十九年五月十日

海軍大臣

内令規
要登載

第二條中「各部長」ノ下ニ「又ハ海軍電波本部技術部長」ヲ加ヘ「又ハ海軍航空本部第一部長」ヲ、海軍航空本部第一部長又ハ海軍電波本部總務部長ニ改ム

第三條 海軍艦政本部總務部長、海軍航空本部第一部長又ハ海軍電波本部總務部長ハ前條ノ諮問事項ヲ取纏メ之ヲ夫々當該部ノ部長會議ニ諮リ審議決定ノ上

海軍艦政本部長、海軍航空本部長又ハ海軍電波本部長ノ承認ヲ受ケ海軍省軍務局長ニ送付ス

第八條中「第二條第六號及第七號」ヲ「第二條第七號及第八號」ニ改ム

(内令提要卷一、二〇ノ三頁參照)

官房經第四六二號

昭和十八年官房經第四三九號外一件中左ノ通改正ス

昭和十九年五月十日

海軍大臣

一 昭和十八年官房經第四三九號中「北海道」ノ下ニ「(千島諸島ヲ除ク)」ヲ加フ

二 昭和十八年官房經第九〇五號中左ノ通改正ス

「北海道」ノ下ニ「(千島諸島ヲ除ク)」ヲ加ヘ同表備考中「海軍工員規則第七十一條」ヲ「戰時海軍工員規則第六十三條」ニ改ム

附 則

本令ハ昭和十九年四月一日以後ノ給與ニ付之ヲ適用ス

(參照) 昭和十八年官房經第四三九號(海軍機密會計法規集六五頁)

昭和十八年官房經第九〇五號(海軍會計法規集三卷七二頁)

○通 牒

艦本第一四號ノ一四八二

昭和十九年五月十日

海軍公報(部内限) 第四千六百八十六號

昭和十九年五月十一日

六八七

1898

海軍艦政本部長

關係各歳入徴收官殿

關係各廳長殿
診療費計算書ニ關スル出納主任ノ件中
追加ノ件通牒

昭和十四年艦本第一〇二四號ノ一三首題通牒中左記ノ
通追加ス

記

歳入徴收官 所在地名	應	名	歳入徴收官 所在地名	應	名
多賀城	多賀城海軍工廠		大分	海軍航空廠	第十航空廠
大和	高座海軍工廠		鹿屋	海軍航空廠	第十二航空廠
津	海軍工廠				

(参照) 昭和十四年艦本第一〇二四號ノ一三通牒(海軍共済組合例
規一〇〇頁)

○ 辭令

南洋廳技師 後藤 達夫
第八海軍軍需部附ヲ免シ第四海軍軍需部附ヲ命ス
(五海軍省)

海軍技師 大塚 徳一
昭和十九年官房艦機密第二三七五號訓令ニ據ル實驗
委員ヲ命ス(五海軍氣象部)

○ 雜款

○ 試驗問題發送

普通科砲術測的術特技章附第三回銓衡試驗問題
掌砲兵 對水上班、對空高角砲班、對空
機銃班、測的班、幹部班
試驗期日 昭和十九年六月十三日(火)

右五月二日左記ノ通發送濟、未着及別ニ必要ノ向ハ最
寄海軍人事部、警備府又ハ横須賀海軍砲術學校へ至急
通知相成度

記

一 聯合試驗用ノモノハ各海軍人事部、各警備府宛送
付

二 單獨試驗施行豫定ノ所轄ニハ直送

三 聯合試驗參加豫定ノ艦船ニシテ行動豫定變更等ノ
爲聯合試驗參加不能ノ向ニ對スル分トシテ前記宛單
獨試驗用問題若平送付濟
(横須賀砲術學校)

第三回普通科特技章普水測
普機雷付與銓衡試驗問題

右五月六日左記ノ通發送濟未着又ハ別ニ必要ノ向ハ海

軍對潛學校ニ至急通知相成度

記

- 一 單獨試驗豫定ノ各部ニハ直送
- 二 聯合試驗用ノモノハ各海軍人事務部宛送付
- 三 聯合試驗參加豫定ノ艦船ニシテ行動豫定變更ノ爲聯合試驗參加不能ノ向ニ對スル分トシテ單獨試驗用若干部各海軍人事務部宛送付シ置ケリ

(海軍對潛學校)

○郵便物ニ關スル件

臨時魚雷艇訓練所(長崎縣東彼杵郡川棚町所在)五月一日附ヲ以テ開應致候條該所長宛書類ハ寫一通ヲ海軍水雷學校ニ、魚雷艇關係ニシテ海軍水雷學校ニ送付ノ書類ハ寫一通ヲ臨時魚雷艇訓練所ヘ送付相成度
(海軍水雷學校)

○事務開始

第三十九號掃海艇艦裝具事務所ハ四月二十七日兵庫縣相生市播磨造船所内ニ於テ事務ヲ開始セリ

- 第二十八魚雷調整班
- 第二十九魚雷調整班
- 第三十魚雷調整班
- 第三十一魚雷調整班
- 第三十二魚雷調整班
- 第三十三魚雷調整班

ハ五月一日洲ノ埼航空隊横須賀分遣隊内ニ於テ事務ヲ開始セリ

- 第三十四魚雷調整班
- 第三十五魚雷調整班
- 第三十六魚雷調整班
- 第三十七魚雷調整班

呂號第五十潜水艦艦裝具事務所ハ五月一日岡山縣玉野市三井玉造船所内ニ於テ事務ヲ開始セリ

○取消

昭和十八年十一月十五日附公報(部内限)辭令欄一二二九頁上段十七行目「林 信夫」、四月二十七日附公報(部内限)辭令欄六一四頁上段十二行目「横内山雄」ノ辭令ハ孰モ取消

海軍公報(部内限)第四千六百八十六號 昭和十九年五月十一日

六八九

1900

(限 内 部)

海軍公報 (部内限) 號外

海軍大臣官房

昭和十九年五月十一日(木)

○ 雜 款

出征軍人軍屬及在支警察官並其遺族等慰問金釀出明細表 (二月份)
 一金六千參百七拾六圓七錢也

内 譯

應 名	金 額	應 名	金 額	應 名	金 額	應 名	金 額
海軍大臣官房	五三三〇	海軍省教育局	一〇七四〇	海軍航空本部	一八〇〇〇	水 路 一 部	三三六八七〇
海軍省調査課	五二六〇	同 軍需局	一〇八八〇	海軍施設本部	三三三九九〇	海軍技術研究所	五四二三八〇
同 電信課	一六三〇〇	同 醫務局	三五四〇	南方政務部	一九〇九〇	海軍大學校	一八九五九〇
海軍交庫	八〇八〇	同 經理局	二六七〇	海軍運輸本部	六〇七〇	海軍軍醫學校	六三三三〇
海軍省軍務局	二八三三〇	同 法務局	三三七〇	海軍功績調査部	七五七〇	海軍軍軍法會議	三三六三〇
同 兵備局	二二〇八〇	軍 令 部	六二三五〇	海軍潜水艦部	一七二〇	橫須賀海軍刑務所	二六九〇
同 人事局	八四四〇	海軍艦政本部	一〇七四七〇	侍從武官府	一三四七〇	橫須賀海軍病院	一九二四〇

海軍公報 (部内限) 號外

1901

吳海軍施設部 (含十月、十二月分)	七〇六〇	八幡海軍監督官 事務所	四三三〇
佐世保海軍刑務所	二九六〇	名古屋同	九一九三〇
第四十一海軍航空廠	三〇三〇	福岡同 (含十月分)	六三四三〇
光海軍工廠	二六四五〇	玉野同 (含十月分)	四五四〇〇
大阪海軍監督官事務所	一三〇五〇		

昭和十九年三月三十一日

海軍省經理局

海軍主計少佐 山内 伸穂

海軍公報

(部内限) 第四千六百八十七號

海軍大臣官房

昭和十九年五月十二日(金)

○通牒

官房備機密第四三號ノ一六

昭和十九年五月十一日

海軍省副官

要内令提
登載

各廳長殿

郵便物ニ關スル件通牒

昭和十八年官房備機密第一四五號通牒首題ノ件別冊郵便物ニ關スル例規中左記ノ通改メラレ候

記

附録所在地區別符表(其ノ二)中ニ「バラバツクテ五參」ヲ加フ

同(其ノ三)中ニ「コタバル イ參五」ヲ加フ

附録部隊區別符表(其ノ一)中「第八〇二航空隊」

「壹參貳」ヲ「第十四航空艦隊偵察機隊」

「改メ」第六輸送隊「ウ四貳壹」

「第一護衛船團司令部」

「ウ四貳貳」

「第二護衛船團司令部」

「ウ四貳參」

「第三護

衛船團司令部「ウ四貳四」

「第四護衛船團司令部」

「ウ四貳五」

「第五護衛船團司令部」

「ウ四貳六」

「第六護衛船團司令部」

「ウ四貳七」

「第七護衛船團司令部」

「ウ四貳八」

「第八護衛船團司令部」

「ウ四貳九」

「第十四航空艦隊輸送機隊」

「ウ四參〇」ヲ加フ

同(其ノ二)中ニ「第九十七防空隊」

「テ四四六」ヲ加フ

同(其ノ三)中ニ「第四海上護衛隊司令部」

「イ壹壹四」

「四」

「沖繩方面根據地隊司令部」

「イ壹壹五」

「第十一航空隊」

「イ壹壹六」

「第十二航空隊」

「イ壹壹七」

「第十三航空隊」

「イ壹壹八」ヲ加フ

同(其ノ四)中ニ「第百四航空基地隊」

「セ壹四壹」

「殘留隊」

「セ壹四貳」

「第九十六防空隊」

「セ壹四參」ヲ加フ

別表海軍軍用郵便所及同派出所一覽表中第十二海軍軍

用郵便所ノ項所屬ノ欄「第八艦隊」

ヲ「南東方面艦隊」ニ改メ

「第一派出所」

「ロレンゴウ」

ヲ加ハ

第十五海軍軍用郵便所ノ項所屬ノ欄

「南東方面艦隊」

ヲ「第八艦隊」

ニ改メ

「第一派出所」

「ロレンゴウ」

ヲ加ハ

第十五海軍軍用郵便所ノ項所屬ノ欄

「南東方面艦隊」

ヲ「第八艦隊」

ニ改メ

「第一派出所」

「ロレンゴウ」

ヲ加ハ

第十五海軍軍用郵便所ノ項所屬ノ欄

「南東方面艦隊」

(限 内 部)

海軍公報(部内限) 第四千六百八十七號

昭和十九年五月十二日

六九二

1903

ニ、第二十二海軍軍用郵便所ノ項第一派出所「伊勢」ヲ「日向」ニ改ム

兵備三機密第四二八號

昭和十九年五月十一日

海軍省兵備局長

各鎮守府參謀長
各警備府參謀長 殿

機帆船漁船徵備ニ關スル件申進

首題ニ關スル注意事項ニ關シテハ屢次申進ノ處船舶事情逼迫ニ從ヒ徵備ニ依ル影響大トナリ中央ニ於ケル處理事項モ増加セルニ鑑ミ船舶ヲ指名シテ徵備協議ノ際ニハ左記ニ關シ特ニ配慮相成度

記

一、五〇總噸以上機帆船ハ總テ國家管理船トスル政府方針ハ既報ノ通ナル處今般更ニ二〇總噸以上機帆船ノ徵備ハ大本營政府連絡會議經由ノコトニ定メラレタルニ付必ズ國家管理船ノ有無及地方輸送及生業ヘノ影響ヲ調査シ成ルベク海運局地方廳等ト連絡ノ上之等狀況ヲ附記シテ協議スルコト
二、農商省ハ國民食糧確保ノ爲必要ナル各地方漁船ニ對シ今般「戰時漁船票」(葉書二倍大)ヲ保持セシ

ムルコトトナリ之ニ對シテハ徵備免除ノ要請アリタルニ付差支ナキ限り右ヲ除外ノコトトシ必ズ「戰時漁船票」保持ノ有無及地方漁業ヘノ影響ヲ調査シ成ルベク地方廳等ト連絡ノ上之等狀況ヲ附記シテ協議ノコト

〇 辭 令

軍令部課長海軍大佐 山岡 三子夫
兼第二部第四課長ヲ免ス

同 齋 藤 昇

第二部第四課長ヲ命ス

軍令部出仕海軍中佐 瓜生 總男

第二部第四課兼第一部第一課勤務ヲ命ス(以上 五五〇
軍令部)

海軍大佐 山岡 三子夫

兼參謀部第二部第四課長ヲ免ス

同 齋 藤 昇

參謀部第二部第四課長ヲ命ス(以上 五五〇 大本營海軍部)

海軍技師 中澤 壽三郎

糧食生産班員ヲ命ス(四七七 海軍省軍需局)

1904

○ 雜 款

○ 練習生採用試験問題ノ件
本艦任務行動上聯合試験參加不能ニ付自今各種練習生採用試験問題一部宛直送相成度
(海防艦 三宅)

○ 事務開始

名古屋海軍航空隊岡崎分遣隊(假稱)設立準備事務所ハ四月十六日名古屋海軍航空隊内ニ於テ事務ヲ開始セリ

追テ書類ハ左ニ依リ發送相成度
愛知縣西加茂郡舉母郵便局氣付
名古屋海軍航空隊内

(名古屋海軍航空隊岡崎分遣隊(假稱)設立準備事務所)

○ 休職満期

休職海軍技手鬼塚正幸ハ四月十二日休職満期ト爲レリ

○ 正誤

四月十七日海軍公報(部内限)辭令欄五五三頁下段十五行目海軍技手早坂 和ノ補職名「第二十六海軍建設部附ヲ命ス」ハ「第二十五海軍建設部附ヲ命ス」ノ誤本年四月二十日海軍公報(部内限)五七〇頁下士官候補者選拔範圍ニ關スル件通牒中「徴兵出身者ハ」ノ下

ニ「兵トシテ現役ニ服シタル期間ヲ通ジ」ヲ脱ス五月五日海軍公報(部内限)辭令欄六五九頁上段遞信手山根準三外拾七名ノ辭令文「横須賀鎮守府附ヲ免シ第四艦隊司令部附ヲ免ス」ハ「横須賀鎮守府附ヲ免シ第四艦隊司令部附ヲ命ス」ノ誤

1905

海軍公報 (部内限) 第四千六百八十八號

昭和十九年五月十三日(土)
海軍大臣官房

○令達

官房人第五三〇號
海軍豫備員ヨリスル海軍武官任用等特例ノ規定ニ依リ
海軍飛行科又ハ整備科ノ准士官又ハ下士官ヲ任用ス
現ニ召集中ノ海軍飛行科又ハ整備科ノ豫備准士官又ハ
豫備下士官ニシテ現役ノ飛行科又ハ整備科ノ准士官又
下士官タランコトヲ志願スルモノハ本年六月十五日
在籍鎮守府司令長官ニ願出ヅベシ
昭和十九年五月十二日
海軍大臣

○通牒

官房機密第三二六號
昭和十九年五月十三日
各廳長殿
海軍省副官
要令提
登載

○辭令

海軍省構門通行取締ニ關スル件申進
首題ノ件ニ關シテハ昭和十八年官房機密第一七一號ハ
來ル五月十四日限り之ヲ廢止後昭和十八年官房軍
機密第四一五號ニ依リ實施ノコトニ定メラレ候條了知
相成度
追テ部内者ト雖モ平服着用ノ者ハ通門ニ際シテハ一
般ニ身分證明書ノ提示ヲ要スルモノトシ昭和十四年
達第二百五十二號制定ノ徽章ニ依ル通門ハ認メラレ
ザルコトト可相成爲念

(各通)
海軍豫備學生 池田 雄治郎
同 内藤 伊兵衛
横須賀鎮守府ニ配屬ヲ命ス(三十勅海軍省)
同 淺井 勝利
第一二海軍航空隊ニ配屬ヲ命ス
同 淺井 敏雄
第一三海軍航空隊ニ配屬ヲ命ス

海軍公報(部内限) 第四千六百八十八號 昭和十九年五月十三日

1906

海軍豫備學生 美根 和多利
第六五三海軍航空隊ニ配屬ヲ命ス

同 大矢 茲二郎
第六〇一海軍航空隊ニ配屬ヲ命ス(以上五同)

海軍主計少佐 長井 正男
第五課勤務ヲ命ス(海軍省經理局)

海軍主計中尉 北尾 豊彦
第四海軍經理部サイパン支部國防獻金、恤兵金、學

藝技術獎勵金分任出納官吏ヲ命ス(海軍省經理局長)

○ 雜 款

○ 試驗問題發送

普通科航空兵器術特技章付與第三回銓衡試驗問題
右五月七日左記ノ通發送濟、未着又ハ別ニ必要ノ向ハ
至急通知相成度

記

- 一 單獨試驗施行豫定ノ各部ニハ直送
- 二 聯合試驗用ノモノハ横須賀、佐世保、吳、舞鶴各
海軍人事部第一課長、大湊、大阪、高雄、鎮海各警
備府副官宛直送

(第十三聯合航空隊司令部)

○ 練習生入隊ニ關スル件

洲崎海軍航空隊横須賀派遣隊ハ三月十五日附分遣隊ニ
開隊セルニ付高等科兵器整備術(雷爆)練習生ハ洲崎
海軍航空隊横須賀分遣隊ニ入隊ヲ命ゼラレ度
(洲ノ崎海軍航空隊横須賀分遣隊)

○ 事務所設置

大阪海兵團(假稱)設立準備事務所ハ五月一日大阪市
北區堂島中町二丁目電業會館内ニ設置郷田大佐事務所
ト呼稱シ同事務所ニ於テ事務ヲ開始セリ
追テ紀伊防備隊内ニ設置中ノ田邊兵員收容施設建設
準備事務所ハ之ヲ撤去シ同所關係事務ハ本事務所ニ
引繼ス

○ 糧食品供給請負人設置

昭和十九年四月一日ヨリ左記ニ糧食品供給請負人ヲ設
置セリ
秋田縣南秋田郡船川港町元濱町二二一ノ二
船川艦船食糧品供給組合 組合長 渡部重秋
(大湊海軍軍需部)

○ 事務開始

當隊管理大分航空基地ハ三月十五日大分市今津留舊大
分海軍航空隊内ニ於テ事務ヲ開始セリ
追テ關係書類ハ直接同航空基地宛送付相成度
(宇佐海軍航空隊)